

高齢者を主体とした世界糖尿病デーの啓蒙活動の取り組み

¹大崎市民病院岩出山分院 栄養管理室

千葉 智子¹

【目的】世界糖尿病デーの啓蒙活動の一環として外来糖尿病教室での指導媒体を用い5日間外来待合室にて糖尿病食事療法に関する展示を行ったので報告する。

【方法・結果】展示をみた患者を対象に展示内容や活動についての自記式アンケート調査を実施した。58名の回答のうち70歳以上の高齢者の回答が59%を占めた。展示内容は実際に触れることができるものや視覚的にわかりやすいものに配慮した。野菜料理のレシピ配布や野菜をたくさん食べるための調理の工夫の展示が好評であった。管理栄養士が常駐することで患者から食事に関するさまざまな質問が寄せられた。

【考察・結論】高齢者の理解度を高めることに配慮した指導媒体の展示を行ったことで、糖尿病とその食事療法について参加者の理解を深めることができ、更に患者とのコミュニケーションを図ることができた取り組みであったと考える。